ROCKY ROOF CARRIER

SA-21H・21HB 専用オプションパーツ/アシストローラー取扱い説明書

品番／ＡＲ-０４

この度はロッキールーフキャリアオプションパーツ「AR-04」をお買い上げいただきありがとうございます。
常に安全な状態で、ご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
尚、販売店にて本製品を取付けられましたら、本書を必ずお客様にお渡しください。
製品(組立て・取付け等)についてご不明な点は、お買い求めの販売店又は弊社までお問い合わせください。
誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますので、ご了承ください。

ご使用前に

⚠ 注意　本製品は、ＳＡ－２１Ｈ・２１ＨＢ専用のオプションパーツとなります。
他の品番キャリア及び車両には取付けないでください。※「適用車種表 P2. 参照」

⚠ 注意　アシストローラー(AR-04)とハシゴ(AK-13.13B.18.18B.19.19B)の同時取付けはできません。
ハシゴがバックドア開閉時に干渉します。

⚠ 注意　部品不足での使用は絶対に行わないでください。

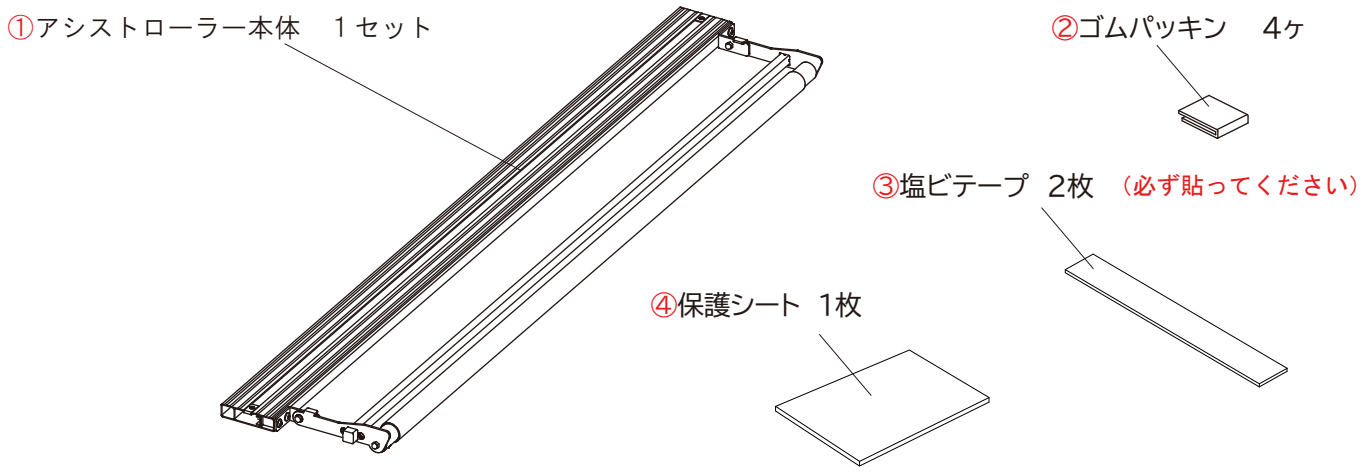
⚠ 注意　リアワイパーにローラー部が干渉するような取付けを行った場合、リアワイパーに当たりながら
ローラーが可動するため、リアワイパーを破損する恐れがあります。

● 本製品を取付ける前にお客様で保管されていますルーフキャリア「SAシリーズ/SA-21H・SA-21HB」の取扱い説明書を必ずご用意して下さい。
（紛失された場合は、弊社ホームページにて取扱い説明書は閲覧できますので必ずご確認をお願いいたします。
● 弊社ホームページ 【https://www.rocky.ne.jp/】 【https://www.rocky.ne.jp/support/manual/】
● 本製品の取付けには「プラスドライバー/10mmスパナ」が必要となります。

構成パーツ

● 構成パーツは、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。

(注)〇番号は「アシストローラー・AR-04」の取説番号となります。
〇番号は「ルーフキャリア・SA-21H/SA-21HB」の取説番号となります。



SA-21H・21HBと同時に組立てする場合　3 4 5 6 12 ページ

SA-21H・21HB取付け後にAR-04を取付ける場合　7 8 9 10 11 12 ページ

シグナルマークについて・ご使用前に・商品特長・取扱い上の注意　13 ページ

Rocky SINCE 1946 ロッキープラス株式会社
〒463-0025 名古屋市守山区元郷2-107　TEL(052)778−7876　FAX(052)778−7718
HP https://www.rocky.ne.jp　E-mail rocky@rocky.ne.jp

202611

⚠注意：組立て前に確認を！！

※ 下記、車種の「標準ルーフ」には対応しておりません。
※ 現行車両型のみ対応になります。
※ リアスポイラー装着車は取付けできません。
　下記、車種適用車種表をご確認の上、次の工程にお進み下さい。

適用車種表

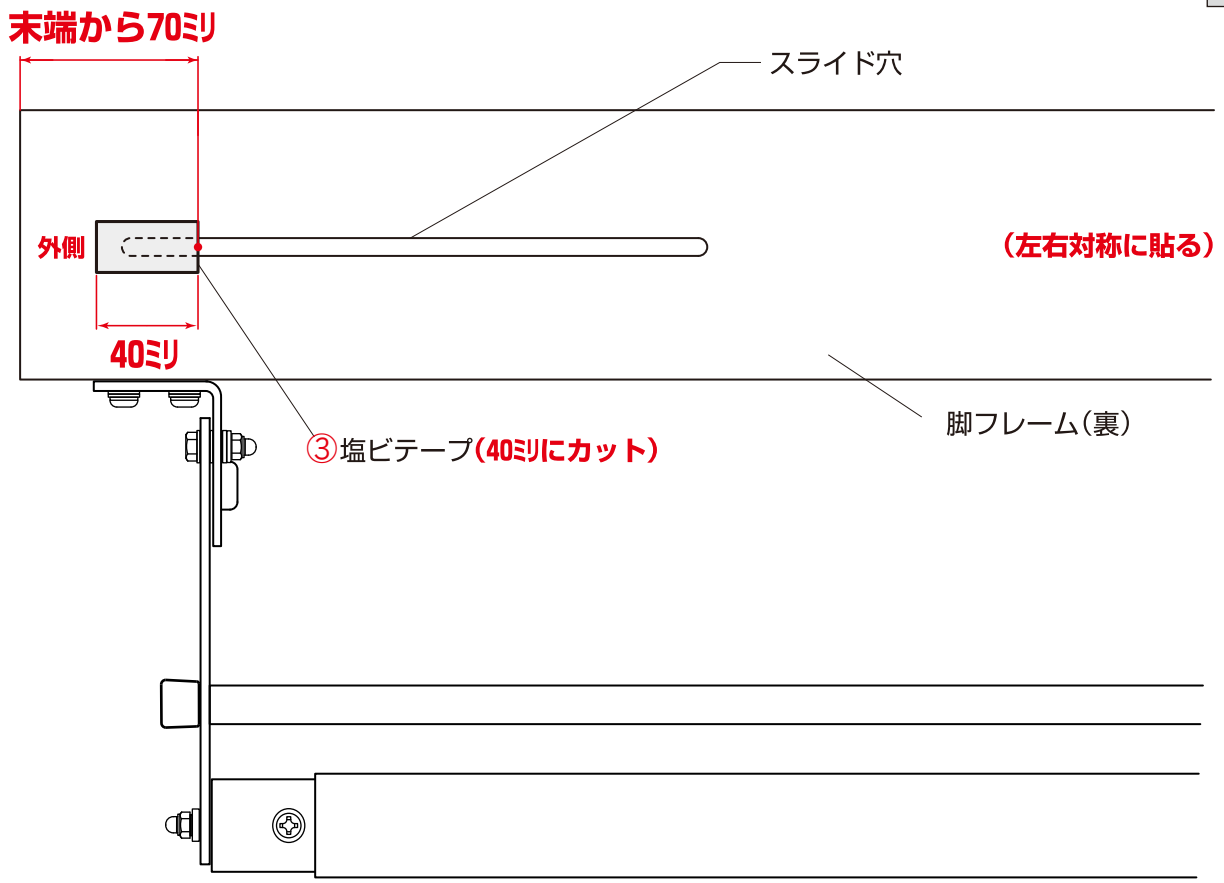
メーカー	車種名	ルーフ形状	年式	車両型式	雨ドイ後端からの位置
スズキ	エブリイ	ハイルーフ	H27.2～	DA17V系 ・DA18V系	100㎜
	エブリイワゴン※	ハイルーフ	H27.2～	DA17W系・DA18W系	
	e エブリイ(電気自動車)	ハイルーフ	R8.3～	S781Z系	70㎜
マツダ	スクラムバン	ハイルーフ	H27.3～	DG17V系・DG18V系	100㎜
	スクラムワゴン※	ハイルーフ	H27.3～	DG17W系・DG18W系	
ニッサン	クリッパーバン	ハイルーフ	H27.2～	DR17V系・DR18V系	100㎜
	クリッパーリオ※	ハイルーフ	H27.2～	DR17W系・DR18W系	
ミツビシ	ミニキャブ	ハイルーフ	H27.3～	DS17V系・DS18V系	100㎜
	タウンボックス※	ハイルーフ	H27.3～	DS17W系・DS18W系	
ダイハツ	ハイゼットカーゴ	ハイルーフ	R3.12～	S700V系・S710V系	70㎜
	アトレーワゴン	ハイルーフ	R3.12～	S700W系・S710W系	
	e ハイゼットカーゴ(電気自動車)	ハイルーフ	R8.2～	S781V系	
	e アトレー(電気自動車)	ハイルーフ	R8.2～	S781V系	
スバル	サンバーバン	ハイルーフ	R4.1～	S700B系・S710B系	70㎜
トヨタ	ピクシスバン	ハイルーフ	R7.12～	S700M系・S710M系	70㎜
	ピクシスバン BEV(電気自動車)	ハイルーフ	R8.2～	S781M系	
ホンダ	N-VAN	ハイルーフ	H30.3～	JJ1.2系	120㎜
	N-VAN e:(電気自動車)	ハイルーフ	R8.3～	JJ3系	

メーカー	車種名	ルーフ形状	年式	車両型式	④保護シート貼付位置
スズキ	エブリイ	ハイルーフ	H27.2～	DA17V系 ・DA18V系	①
	エブリイワゴン※	ハイルーフ	H27.2～	DA17W系・DA18W系	
	e エブリイ(電気自動車)	ハイルーフ	R8.3～	S781Z系	②
マツダ	スクラムバン	ハイルーフ	H27.3～	DG17V系・DG18V系	①
	スクラムワゴン※	ハイルーフ	H27.3～	DG17W系・DG18W系	
ニッサン	クリッパーバン	ハイルーフ	H27.2～	DR17V系・DR18V系	①
	クリッパーリオ※	ハイルーフ	H27.2～	DR17W系・DR18W系	
ミツビシ	ミニキャブ	ハイルーフ	H27.3～	DS17V系・DS18V系	①
	タウンボックス※	ハイルーフ	H27.3～	DS17W系・DS18W系	
ダイハツ	ハイゼットカーゴ	ハイルーフ	R3.12～	S700V系・S710V系	②
	アトレーワゴン	ハイルーフ	R3.12～	S700W系・S710W系	
	e ハイゼットカーゴ(電気自動車)	ハイルーフ	R8.2～	S781V系	
	e アトレー(電気自動車)	ハイルーフ	R8.2～	S781V系	
スバル	サンバーバン	ハイルーフ	R4.1～	S700B系・S710B系	②
トヨタ	ピクシスバン	ハイルーフ	R7.12～	S700M系・S710M系	②
	ピクシスバン BEV(電気自動車)	ハイルーフ	R8.2～	S781M系	
ホンダ	N-VAN	ハイルーフ	H30.3～	JJ1.2系	③
	N-VAN e:(電気自動車)	ハイルーフ	R8.3～	JJ3系	

SA-21H・21HB　と同時に組立てする場合①

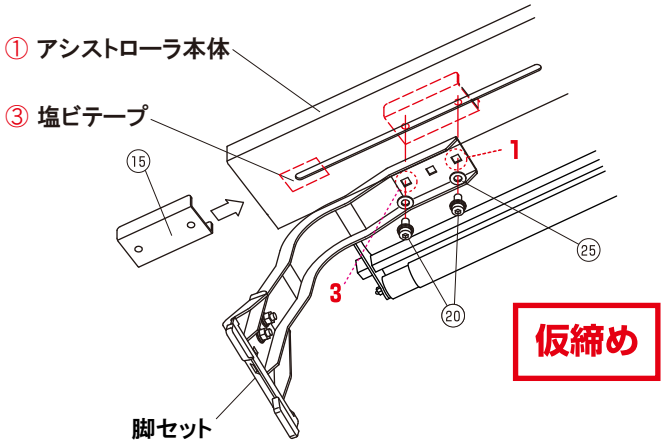
1. ③塩ビテープを「40㎜」にカットして①アシストローラー本体のフレーム裏のスライド穴外側（左右対称2ヶ所）に貼ってください。（キャリアの取付け後ではスライド穴の外側に③塩ビテープを貼り付ける事が困難となります。〔図-1〕

図 -1



2. ①アシストローラー本体のフレームに⑮ナットプレートを通し、SA-21H・21HB取扱い説明書の「組立て方法/1」で組立てた後脚セットを㉕ナイロンワッシャーと⑳キャップボルトセットにて仮組付けします。 組付ける際は、ステー上部の **1** と **3** の角穴を使用してください。〔図-2〕
※車両に取付ける際に幅の調整を行う為、スライドする程度の仮組付けの状態にしてください。

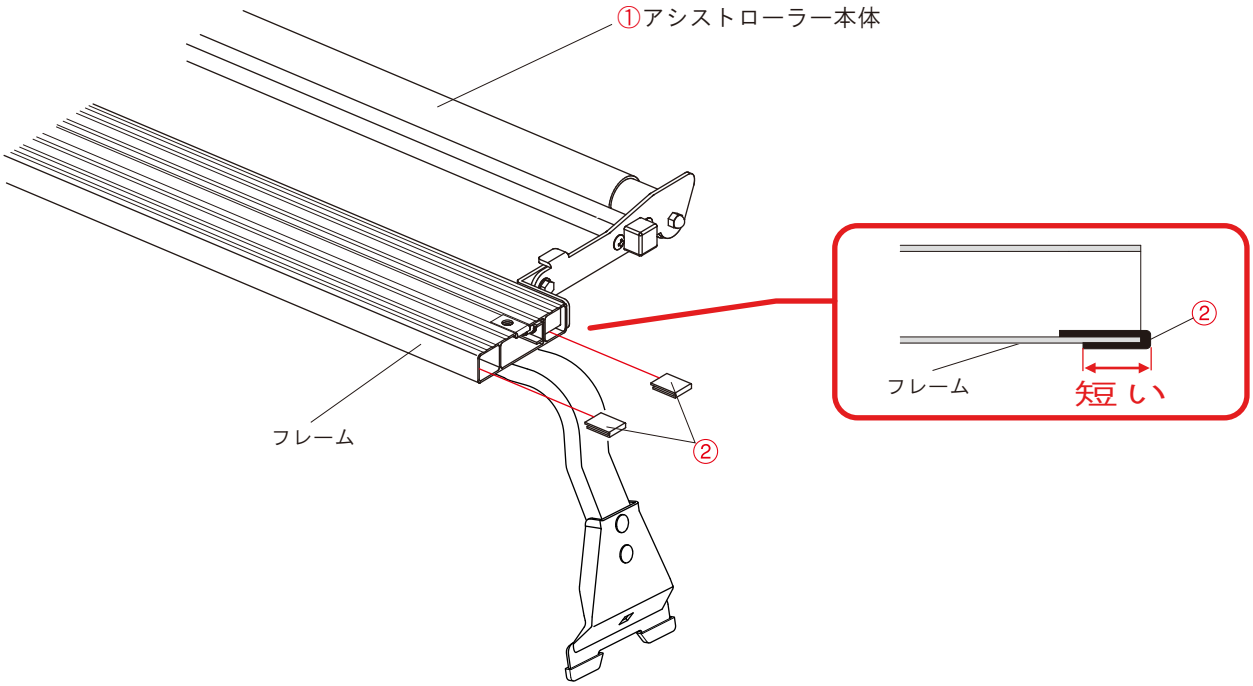
図-2



SA-21H・21HB と同時に組立てする場合②

3. ①アシストローラー本体のフレーム両端下面に、②ゴムパッキンをはめます。
この時、②ゴムパッキンはベラの短い方が下になるようにしてください。〔図-3〕

図-3



4. [前用キャリア枠]同様に③④サイドフレーム(後/左右)に⑩荷台フレームと「①アシストローラー本体」を⑱⊕六角ボルトセットM6にて「前方」に組付けます。この時に⑱⊕六角ボルトセットM6が長穴の前方にくるようにして締付けます。〔図-4-A〕その後、③④サイドフレーム後端に⑤⑥先端キャップをはめ込み下から⑲⊕タッピングビス5ミリで固定します。〔図-4〕

⚠注意　①アシストローラー本体に組付けた、②ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず組付けた状態で③④サイドフレームに差し込んで下さい。硬くて差し込み難い場合は②ゴムパッキンとサイドフレームに中性洗剤を塗ると差し込みやすくなります。

図-4

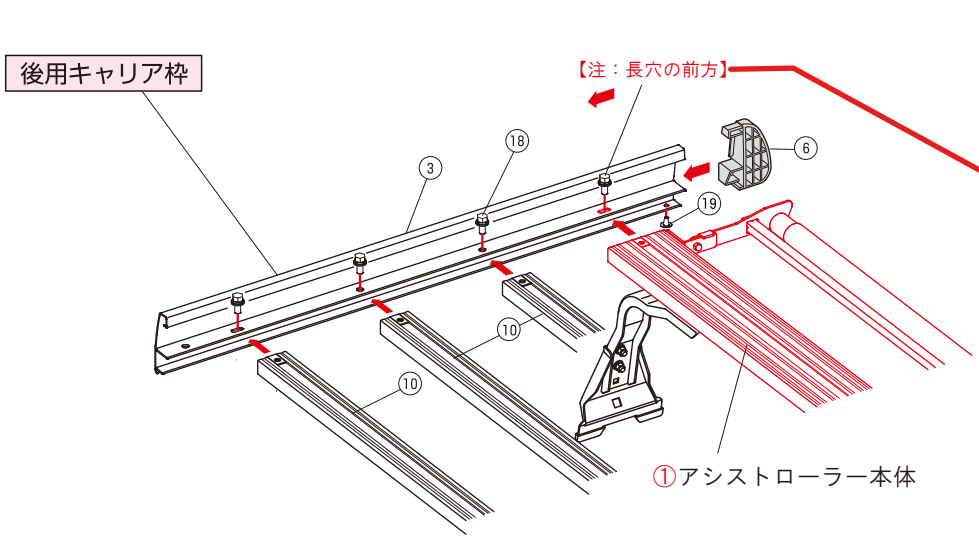
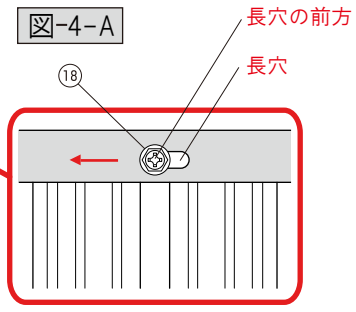


図-4-A



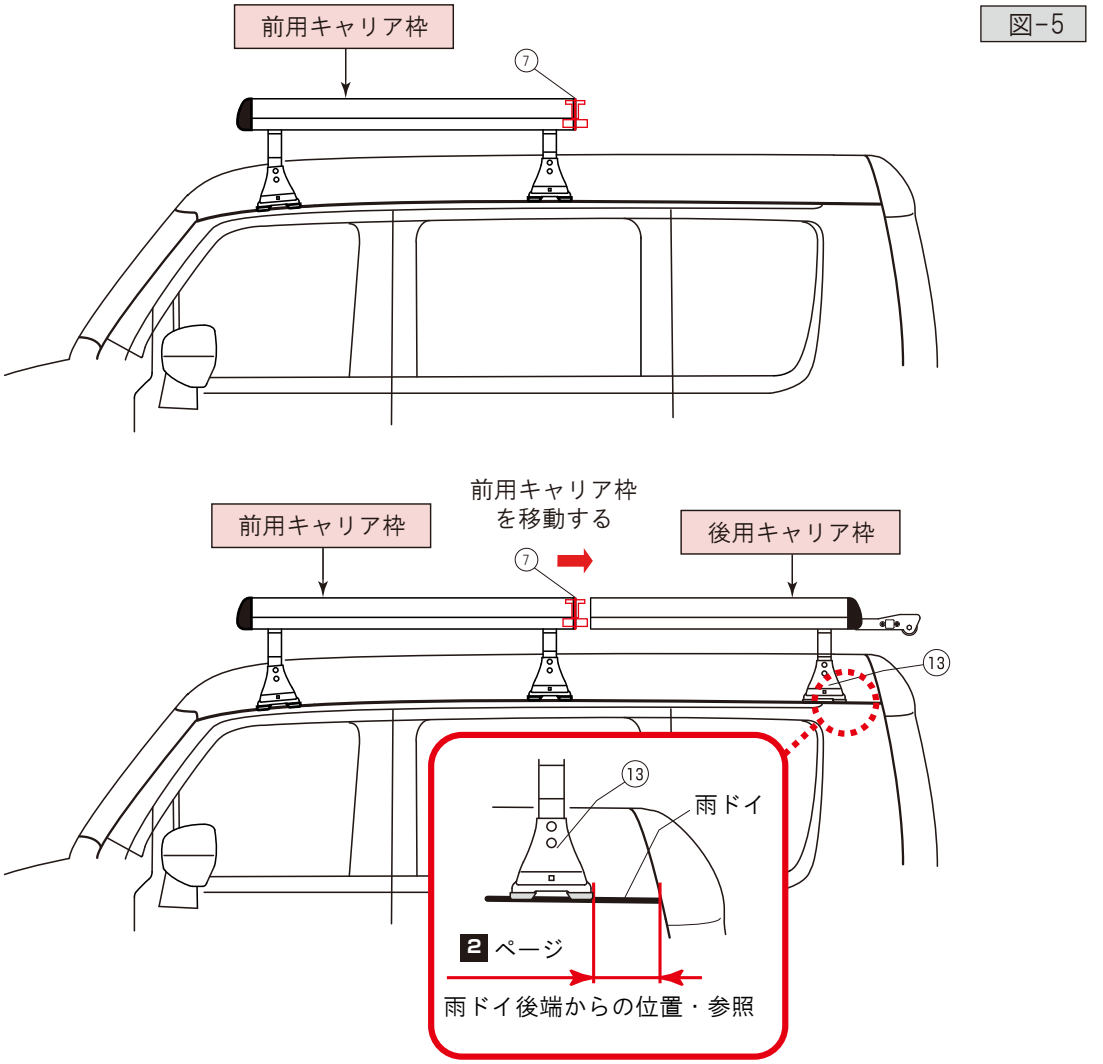
注（⑤⑥の先端キャップが入らなくなるため）

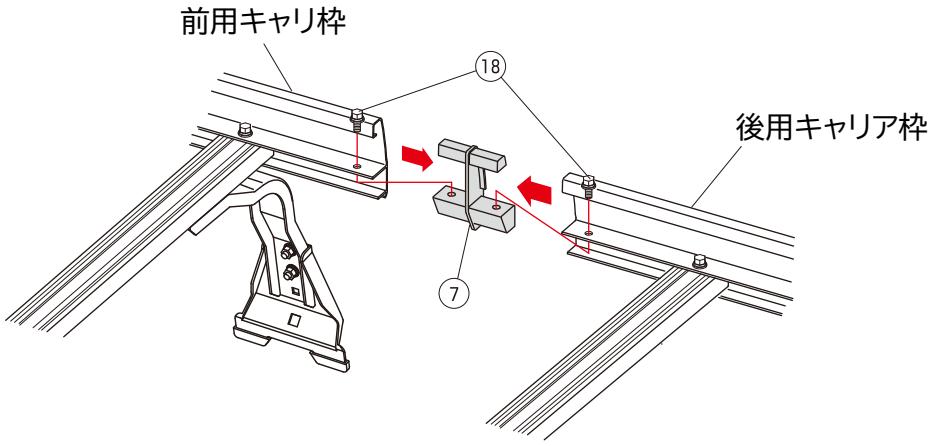
SA-21H・21HBと同時に組立てする場合 ③

5. SA-21H・SA-21HB取扱い説明書の「組立て方法3」で組立てた「前用キャリア枠」を車両前方の雨ドイに載せ、次に⑦ジョイントを「前用キャリア枠」に⑱⊕六角ボルトセットM6で固定し、次にアシストローラー取扱い説明書(AR-04)の「組立て方法 2-2」で組立てた「後用キャリア枠」を車両後方の雨ドイに載せ、雨ドイの後端より前方へ「雨ドイ後端からの位置(適用車種表P2.参照)」の指定の位置のところに⑬インナークランプの端がくるように調整を行い、「前用キャリア枠」と繋ぎ合わせ、⑱⊕六角ボルトセットM6で仮締めし位置が確定後、しっかりと固定します。〔図-5〕

⚠注意：キャリアを屋根に載せる際は必ず「４人以上」でゆっくりとキズをつけないように慎重に行ってください

図-5





以降は「SA-21H・SA-21HB ／取扱い説明書／取付け方法」の手順に沿って取付けを行ってください。

SA-21H・21HB　と同時に組立てする場合④

6. キャリアを取付け後、①アシストローラー本体の「内側」のスライド穴を③塩ビテープを貼って確実に塞いでください。〔図-6〕

⚠注意：必ず塞いでください！！

この作業を怠ると走行時に笛を吹いたような異音が発生し、また雨天や洗車時には水が浸入するためサビ発生の原因になります。お忘れなく必ず塞いでください。

重 要

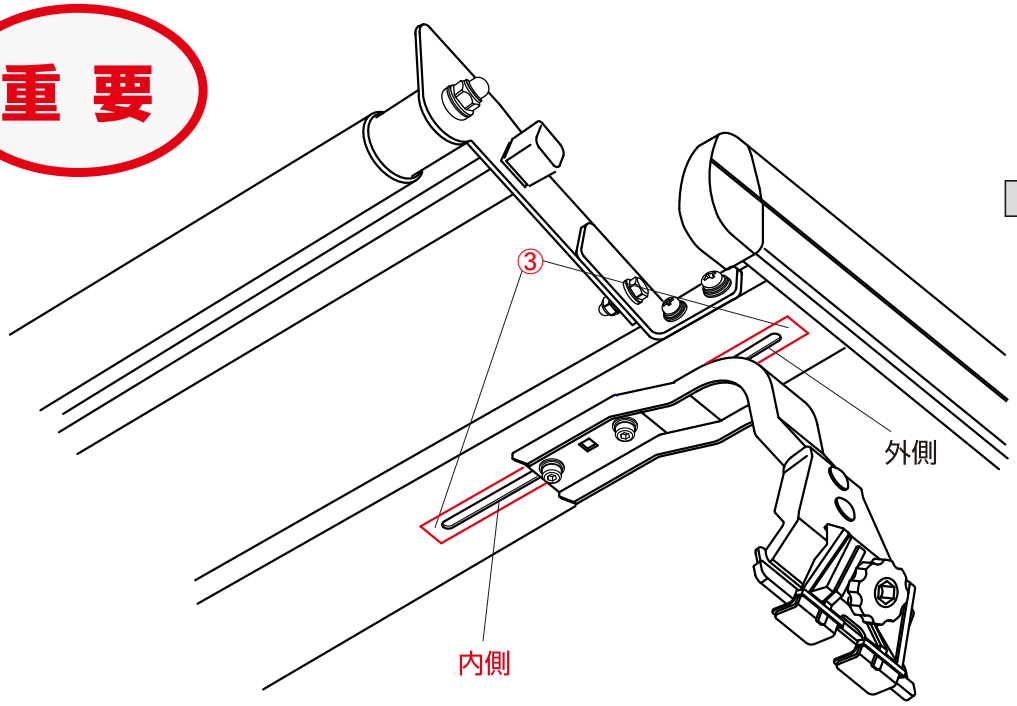


図 -6

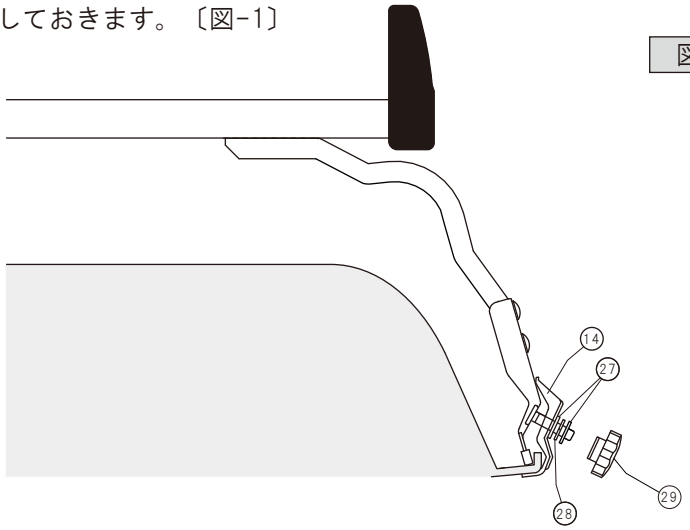
⚠注意：キャリア取付け後の確認を！！

- **キャリアを前後左右に揺すり〝ズレ〟や〝ガタツキ〟が無い事を確認してください。**
- **キャリアを手のひらで数ヶ所叩いて、各締付け部にユルミがないかを確認してください。ユルミがある場合は〝ビビリ音〟がします。**
- **キャリアを取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。しばらくの間は締付部の増締めを習慣に行ってください。しばらくすると車両とキャリアが馴染んできて締付部は緩まなくなります。**

SA-21H・21HB　取付け後にAR-04を取付ける場合①

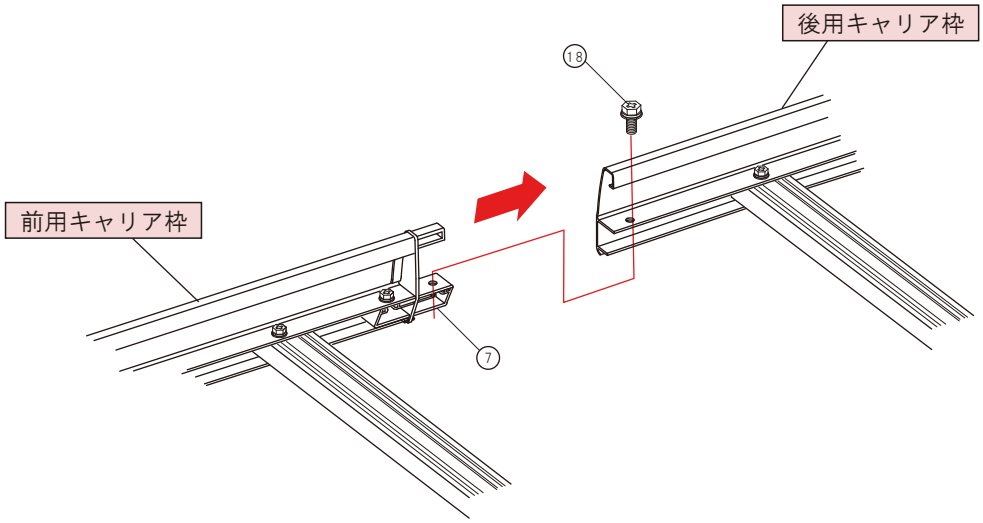
1. キャリアに締付けてある全ての㉙締付ノブ(6か所)を緩め、⑭アウタークランプ、㉗平座金M8、㉘バネ座金M8、を一度取り外しておきます。〔図-1〕

図-1



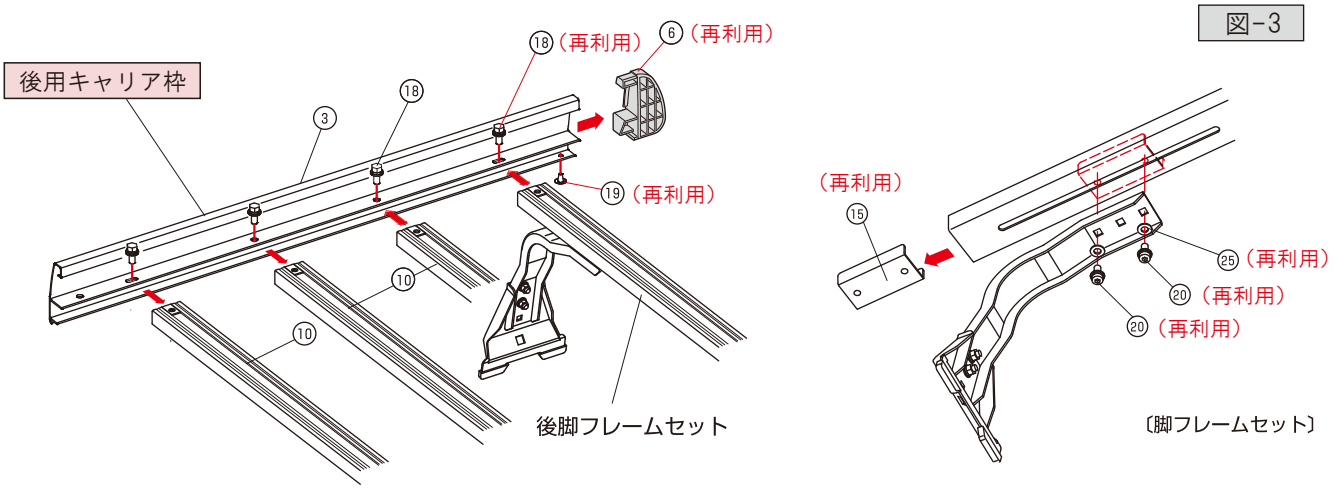
2. [前用キャリア枠]と[後用キャリア枠]を連結している、⑦中間ジョイントの[後用キャリア枠]側の⑱⊕六角ボルトセットM6を取外します。〔図-2〕

図-2



3. [後用キャリア枠]のみ一度車両からゆっくり下します。どちらか片側の③④サイドフレーム(後)に組付けてある⑱⊕六角ボルトセットM6を全てを外し、サイドフレームを一度取り外してください。
そして最後部に組付けてある「後脚フレームセット」は両端の⑱⊕六角ボルトセットM6を外し、脚フレームに組付けてある後脚セットを⑳キャップボルトセットを外しフレーム中の⑮ナットプレートも取り外します。
③④サイドフレームの⑤⑥先端キャップも⑲⊕タッピングビス緩めて取り外します。〔図-3〕

図-3

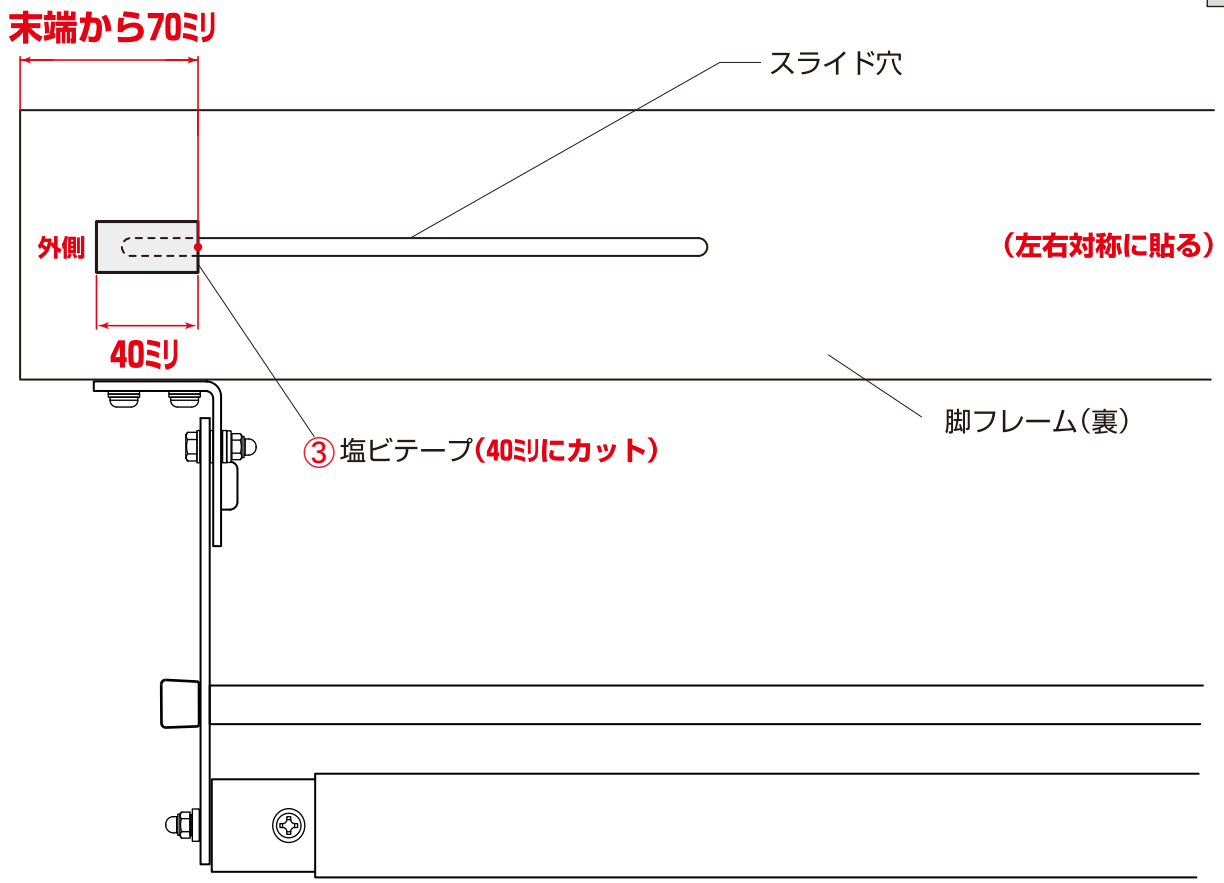


（注）取り外した左右の脚セット／⑱⊕六角ボルトセットM6／⑳キャップボルトセット／⑮ナットプレート
㉓ナイロンワッシャー／⑤⑥先端キャップ／⑲⊕タッピングビス５ミリは再利用しますので紛失しないように保管して下さい。

SA-21H・21HB　取付け後にAR-04を取付ける場合②

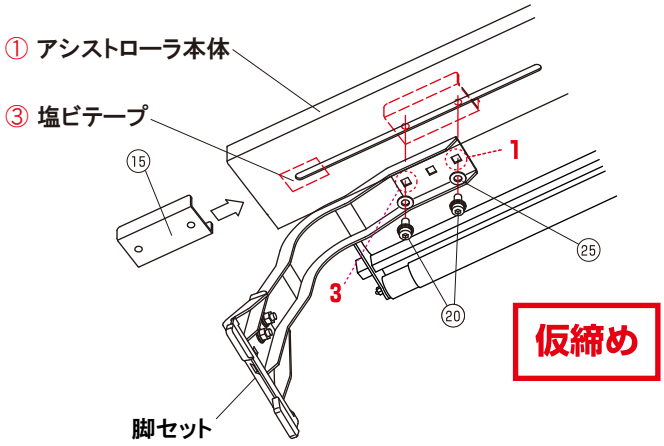
4. ③塩ビテープを「40㎜」にカットして①アシストローラー本体のフレーム裏のスライド穴外側（左右対称2ヶ所）に貼ってください。（キャリアの取付け後ではスライド穴の外側に③塩ビテープを貼り付ける事が困難となります。〔図-4〕

図 -4



5. ①アシストローラー本体のフレームに⑮ナットプレートを通し、SA-21H・21HB取扱い説明書の「組立て方法/1」で組立てた後脚セットを㉕ナイロンワッシャーと⑳キャップボルトセットにて仮組付けします。組付ける際は、ステー上部の **1** と **3** の角穴を使用してください。〔図-5〕
※車両に取付ける際に幅の調整を行う為、スライドする程度の仮組付けの状態にしてください。

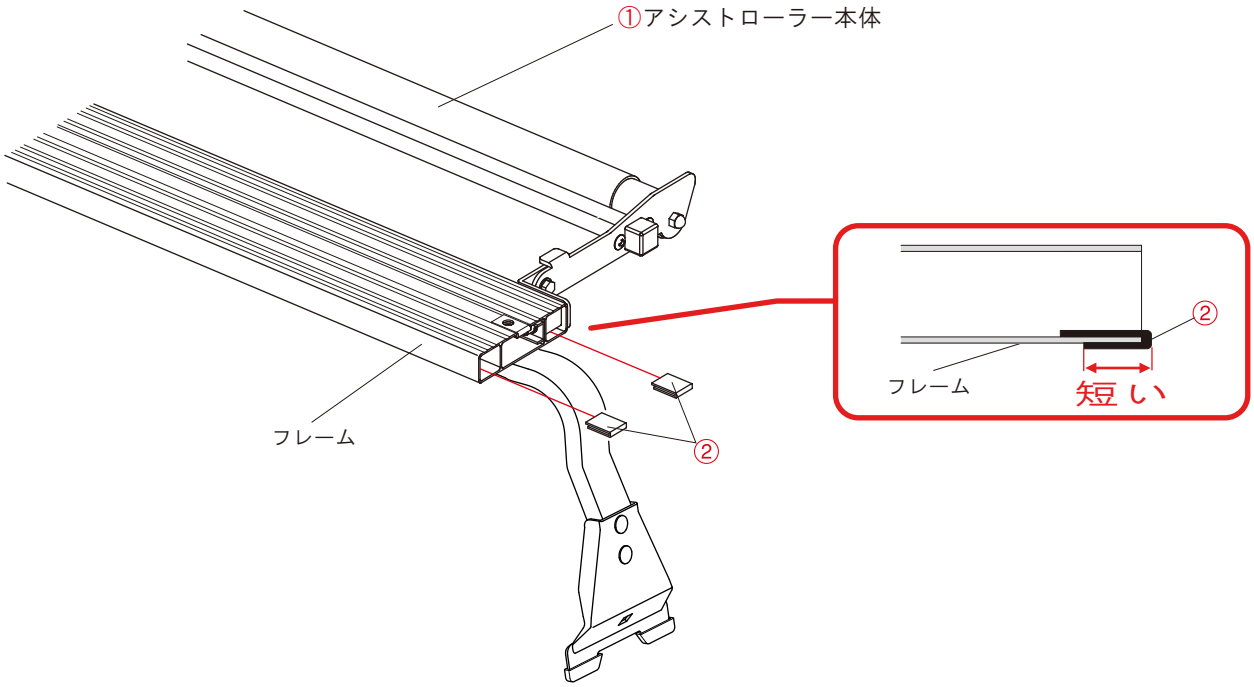
図 -5



SA-21H・21HB　取付け後にAR-04を取付ける場合③

6.

図-6



7. [前用キャリア枠]同様に③④サイドフレーム(後/左右)に⑩荷台フレームと「①アシストローラー本体」を⑱⊕六角ボルトセットM6にて「前方」に組付けます。この時に⑱⊕六角ボルトセットM6が長穴の前方にくるようにして締付けます。〔図-4-A〕その後、③④サイドフレーム後端に⑤⑥先端キャップをはめ込み下から⑲⊕タッピングビス5ミリで固定します。〔図-4〕

⚠注意　①アシストローラー本体に組付けた、②ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず組付けた状態で③④サイドフレームに差し込んで下さい。硬くて差し込み難い場合は②ゴムパッキンとサイドフレームに中性洗剤を塗ると差し込みやすくなります。

図-7

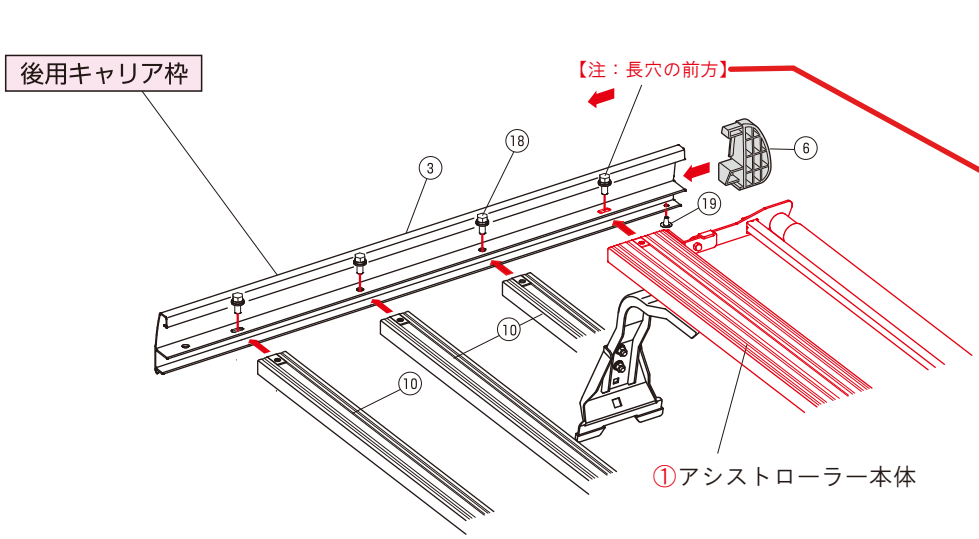
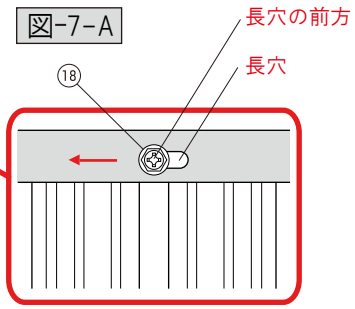


図-7-A



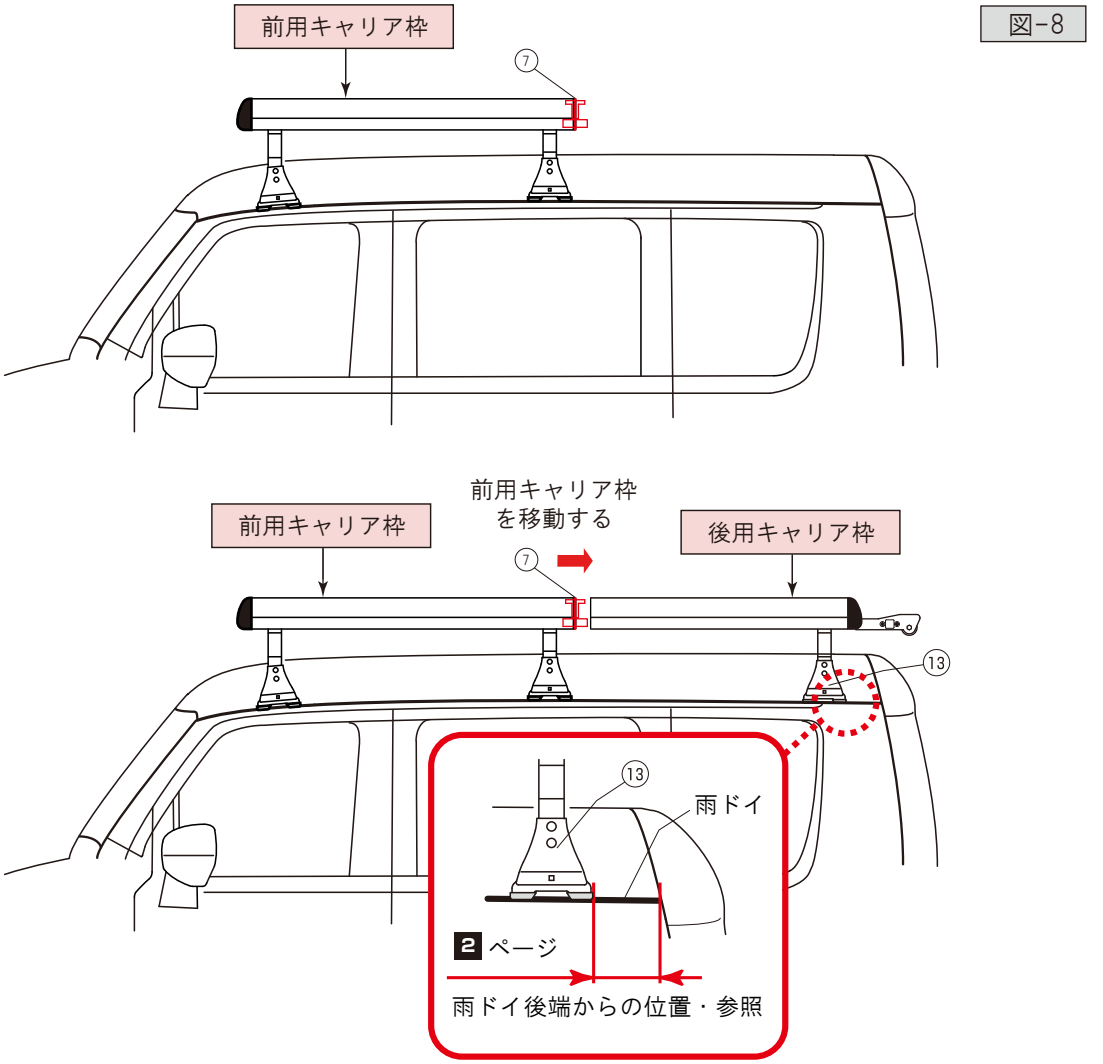
注（⑤⑥の先端キャップが入らなくなるため）

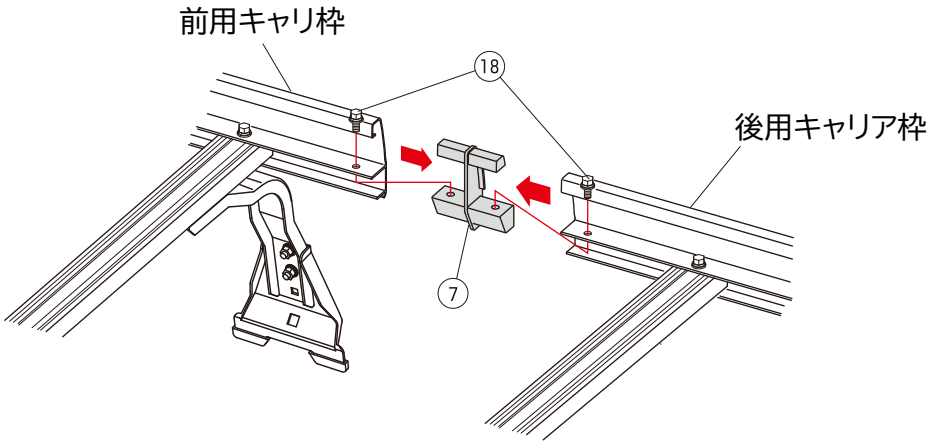
SA-21H・21HB　取付け後にAR-04を取付ける場合④

8. SA-21H・SA-21HB取扱い説明書の「組立て方法3」で組立てた「前用キャリア枠」を車両前方の雨ドイに載せ、次に⑦ジョイントを「前用キャリア枠」に⑱⊕六角ボルトセットM6で固定し、次にアシストローラー取扱い説明書(AR-04)の「組立て方法 2-2」で組立てた「後用キャリア枠」を車両後方の雨ドイに載せ、雨ドイの後端より前方へ「雨ドイ後端からの位置(適用車種表P2.参照)」の指定の位置のところに⑬インナークランプの端がくるように調整を行い、「前用キャリア枠」と繋ぎ合わせ、⑱⊕六角ボルトセットM6で仮締めし位置が確定後、しっかりと固定します。〔図-5〕

⚠注意：キャリアを屋根に載せる際は必ず「４人以上」でゆっくりとキズをつけないように慎重に行ってください

図-8





以降は「SA-21H・SA-21HB ／取扱い説明書／取付け方法」の手順に沿って取付けを行ってください。

SA-21H・21HB　取付け後にAR-04を取付ける場合⑤

9. キャリアを取付け後、①アシストローラー本体の「内側」のスライド穴を③塩ビテープを貼って確実に塞いでください。〔図-6〕

⚠注意：必ず塞いでください！！

この作業を怠ると走行時に笛を吹いたような異音が発生し、また雨天や洗車時には水が浸入するためサビ発生の原因になります。お忘れなく必ず塞いでください。

重 要

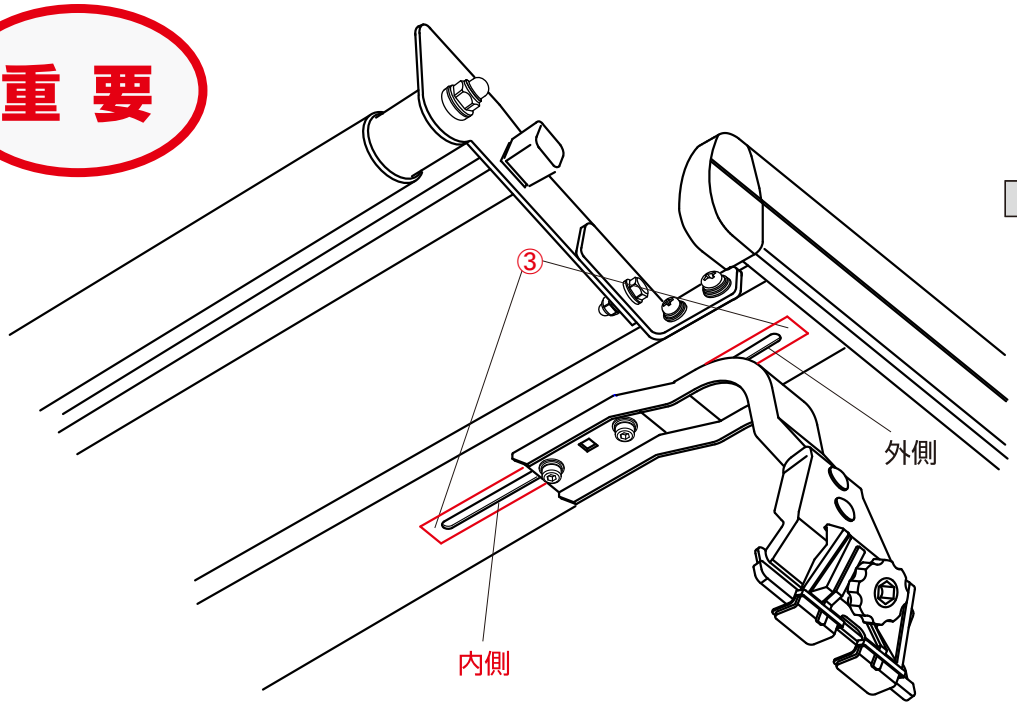


図 -6

⚠注意：キャリア取付け後の確認を！！

- **キャリアを前後左右に揺すり〝ズレ〟や〝ガタツキ〟が無い事を確認してください。**
- **キャリアを手のひらで数ヶ所叩いて、各締付け部にユルミがないかを確認してください。ユルミがある場合は〝ビビリ音〟がします。**
- **キャリアを取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。しばらくの間は締付部の増締めを習慣に行ってください。しばらくすると車両とキャリアが馴染んできて締付部は緩まなくなります。**

④保護シート貼付位置

アシストローラーと開閉時のバックドアが接触する部分に④保護シートを貼ります。上部、中央に貼付いたします。車種により取付け位置は異なりますので「④保護シート貼付位置(適用車種表P2.参照)」をご確認していただき、貼付する位置が分かる様にマーキングし、下記の図の様に④保護シートを貼りつけます。〔図-8〕

図-8

保護シート貼付No.
①

(適用車種表P2.参照)

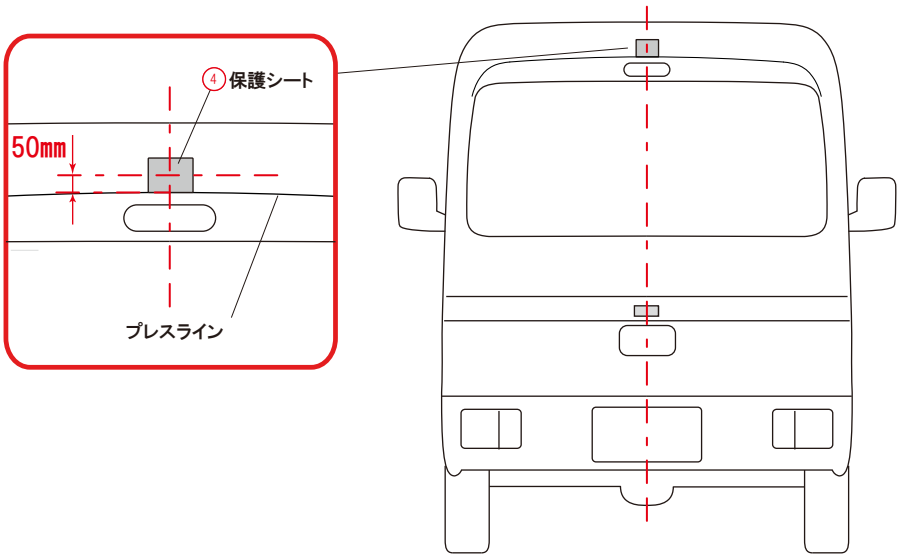


図-8

保護シート貼付No.
②

(適用車種表P2.参照)

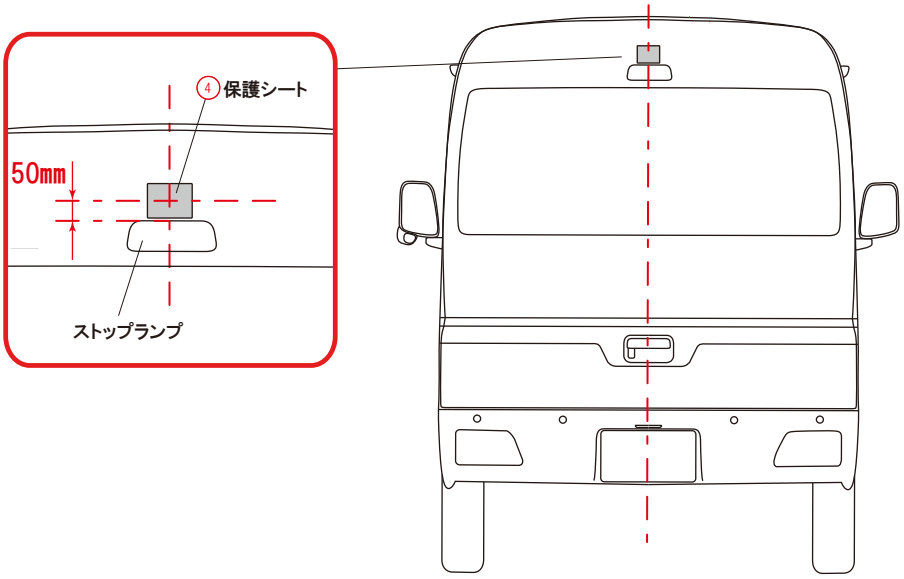
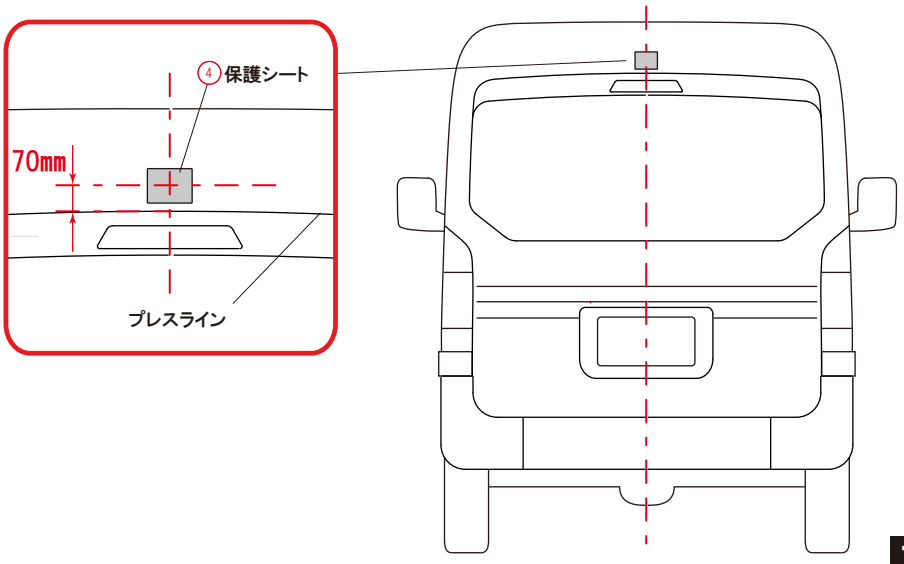


図-8

保護シート貼付No.
③

(適用車種表P2.参照)



シグナルマークについて

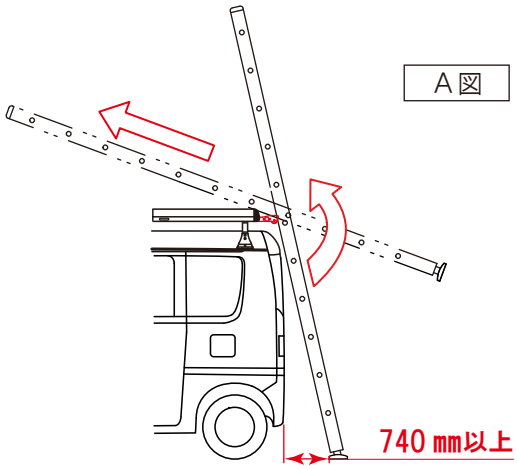
シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で
必ず記載の注意事項を守ってください。
⚠警告 ー 取扱いを誤った場合に、死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。
⚠注意 ー 取扱いを誤った場合に、軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。

商品特長

特長１ AR-04(アシストローラー)を装着する事により、後方からの長尺ハシゴや脚立の荷上げ作業を
キャリアまでアシストします。
(注) 長尺ハシゴや脚立をローラー部に当てて立てかける際は、車両から「740ﾐﾘ」以上離した位置で当てて
ご使用下さい。

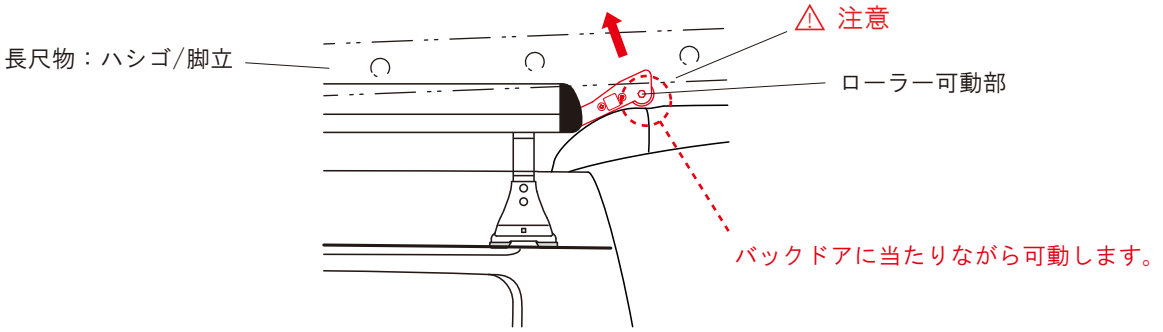
特長２ ローラー部の回転作用により、キャリア荷台中央付近まで
簡単に長尺ハシゴや脚立を誘導します。

A図



特長３ バックドア開閉に連動してバックドアに接触しながらローラー部も上部に可動するため、バック
ドアに負担をかけることはありません。
注)バックドアに保護シートを貼付いたしますが、バックドアを勢いよく開閉したり、長尺物をローラー
まで積載したままの開閉等、凹みやキズの防止からゆっくりとバックドアの開閉を行って下さい。

B図



取扱い上の注意

⚠ 注意 長尺ハシゴや脚立をローラー部に当てる際は、ゆっくりと衝撃がかからないように当ててください。
→強い衝撃がかかることによりアシストローラーの変形や破損の原因になります。

⚠ 注意 ローラーに荷物積載時は、バックドアを開けることが出来ません。
→ローラー部まで積載物が達している状態ではその重みでローラー部の可動機能が停止してバックドア
が全開しなくなりバックドアの凹みやキズの原因になります。